



# エミールだより

# 5月

エミール保育園  
園長 江口 浩三郎

## 「自分で考える力をつけていく」

カラフルにつつじの花が咲き乱れ、里山の樹木も新緑に盛りあがって、初夏の到来を感じさせています。しばらくは泣き声でにぎやかだった園内も、今では普通の姿を取り戻し、先日の誕生会にはどの子どもも楽しそうに参加していました。「お仕事」の面白さや「教具」の魅力も、だんだんわかってくることでしょう。ともだちづきあいも、大いに楽しんでもらいたいですね。そんな期待で胸をふくらませながら登園して来てくれるのを、心より願っています。

ところでエミール保育園では、「自分で考え判断し、自分で行動できる子ども」になることを目標としていますが、「自分で考えるようになるため」には、次に述べるようなことが大切です。

① まず「自分で」がスタートですから、あくまでも自分の気持ちを大事にして、他人に頼ったり従ったりしないことです。その点モンテッソーリ教育での活動は「自己選択」が中心ですから、いやでも自分で考えざるを得ません。それを毎日何時間も、そして何年間も続けていくのです。「自分で＝自発性」が、子どものなかに沁み込んでいくのは、当然のことでしょう。

② 次に「良い考え」「良い選択」をするには、質の高い知性を備えておくことが必要です。良い考えから良い結論を見出すためには、身の周りの多くの情報から必要なものだけを選び取らなければならないからです。子どもが毎日出会い操作している何種類もの教具には、「理論性(筋道や順序立てて考える力)」や、「抽象性(現に間の前にないものをイメージする力)」が身につくように仕組みられています。

③ 次に大切なことは、何をやるにしてもいい加減であいまいにではなく、何をどうやればいいのかをはっきりと考えながら行動することです。そのためには先生がまずお手本を示すとき、「ゆっくりと・正確に・精密に」を心がけなければなりません。これを「行動の意識化」と呼んでいます。そのことによって子どもたちは、考えながら活動するとはどういうことかを学んでいきます。

考え深い子どもは、困難な場面に出会ってもあわてずに解決策を見つけ出します。視野を広く持ち先の見通しを立てることが出来ます。それが支えとなって成長した後、自主独立した生き方を選び、自分の存在を大きくアピールすることができるのです。その時がやってくるのを楽しみにしながら、今をあたたく見守ってやって下さい。(園長より)

## 春の「のぼらコンサート」お知らせ

のぼらコンサートは0～6歳までの子どもたちに「生の音楽を聴かせたい」と父母の会のご協力をいただいで開催しているコンサートです。先日おたよりを配布いたしました。第1回目は「歌とオカリナ」のコンサートです。とても楽しみです。

日 時:5月8日(木) 10:30～11:30

会 場:エミール保育園2階ホール 保護者の方の参加もお待ちしています。

歌 :下城淑江 氏

ピアノ伴奏:山口典子 氏

オカリナ:野田喜志子 氏と「鳥飼オリーブの会」の皆様



## 5月の行事予定

1	木	園外散歩
2	金	
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	子どもの日
6	火	振替休日
7	水	
8	木	のぼらコンサート
9	金	父母の会役員会
10	土	
11	日	
12	月	個人懇談2・4歳児
13	火	
14	水	
15	木	ペアレンツくらす
16	金	ふわふわルーム ↓父母の会総会
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	避難消火訓練
21	水	
22	木	園外散歩
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	誕生会
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

体育教室 5歳児

2・9・16・23・30日 日曜日

絵画教室 5歳児 15日 午後

4歳児 15日 午前